

【2023年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		部屋の区切りがないためにアコーディオンカーテンを活用して活動内容によって部屋を分けるようにしています。
	2 職員の配置数は適切である		○	分散して支援に当たれるように職員個々が目配り、声かけを実践しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		利用児童に応じて手すりを設置する等適宜対応しています。絵や写真で掲示するなど児童、スタッフの双方が情報伝達しやすいように工夫しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼後に前日の振り返りを職員全員で行い、当日の活動の注意点について確認を行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者アンケートを行い、その結果に基づいて会議をして業務改善に繋げています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は行えていませんが、他事業所に職員を派遣して研修を行い、各事業所の業務について評価と検証を行って業務改善に繋げています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		zoomでの研修や社内研修、外部の講師を招いての研修を行っています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別支援計画書を作成する際には面談を行ってニーズを把握するように努めています。	
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		事業所でのアセスメントツールの使用はありませんが、保護者の方が持参くださった検査結果等を活用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングを行って職員全員で意見を出し合って立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童の年齢や特性に配慮しながら、楽しめたり時には挑戦できるようなプログラムになるように職員で意見を出し合って調整しています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休暇でしかできない事、児童の興味・関心等を勘案しながら活動内容を設定しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団活動をスムーズに行えるようになることを基本にして個別の活動や課題についても焦点を当てて支援計画を作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼後に行っているミーティングで当日の参加児童を確認して支援の方法や内容を確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		翌日の朝礼後のミーティングで前日の支援について振り返りや反省を行って職員で共有し、記録に残しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援終了後に記録を作成し、翌日のミーティングで活用しています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングの日を設定して職員全員が参加したうえで計画の見直しを検討しています。
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		○		現状は出来ていませんが、今後取り入れて支援を行っていきます。
	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		サービス担当者会議には児童発達管理責任者を派遣して参画しています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			個別の電話連絡や送迎時に学校の職員から話を聞く等、情報共有と連絡調整を行っています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在のところ受け入れはありませんが、受け入れる場合は責任者を配置して連絡体制を整えます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			支援で困難なことがあった場合等必要に応じて情報共有を行っています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		該当する年齢の児童の利用がなかったことから行ったことがありませんが、必要な状況になれば積極的に情報の提供を行います。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25		○		電話による情報共有等を行っています、助言や研修は受け付けていません。今後は研修等を積極的に受けたいと考えています。
	26		○		実施できていないので、今後連携して交流を増やしていきたいと考えています。
	27		○		開催がないために参加していませんが、開催されれば参加します。
	28	○		送迎の時間を活用して保護者の方と情報共有を積極的に行っています。並行して面談や電話の情報共有も行っています。	
	29		○		現状、ペアレントトレーニングは行えていませんが、送迎や面談、電話等で相談を聞いたり助言をさせていただいています。
保護者への説明責任等	30	○		契約時に丁寧に説明するようにしています。また、契約後でも要望や必要があれば説明させていただくようにしています。	
	31	○		面談や電話で相談を受けさせていただいています。事業所での支援方法をお伝えしています。	
	32		○		事業所のスペースの関係で難しい面もありますが、今後は積極的に開催して保護者間の連携を図っていきたくと考えています。
	33	○		責任者を配置して適切な対応に努めています。	
	34	○		定期的にブログを更新して活動の様子を発信しています。	
	35	○		ブログの作成時を含め個人情報の取り扱いには慎重にしています。	
	36	○		絵や写真、文字を活用して意思の疎通に配慮しています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37		○		地域住民の方の招待は行えていませんが、今後少しずつでも行えるように努力します。
	38	○		各マニュアルを策定して、配布できる資料に関しては保護者にも配布して周知を図っています。	
	39	○		レクリエーションに避難訓練や施設見学を取り入れて実施しています。	
	40	○		行政の研修や社内研修、Zoom研修に積極的に参加しています。	
	41	○		保護者の方への説明とお話を十分に行って理解を得る事が出来るように努めています。また、身体拘束については個別支援計画にも記載しています。	
	42	○		医師の診断書がある児童については医師の指示に基づく対応をしています。診断のない児童については、保護者の方からよくお話を聞いて対応しています。	
43	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット事例集を作成し、職員で回覧して周知しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。